

児童の地図作品の紹介

今号は第15回とやまみんなの地図作品展から姫野理央さんの作品を紹介します！

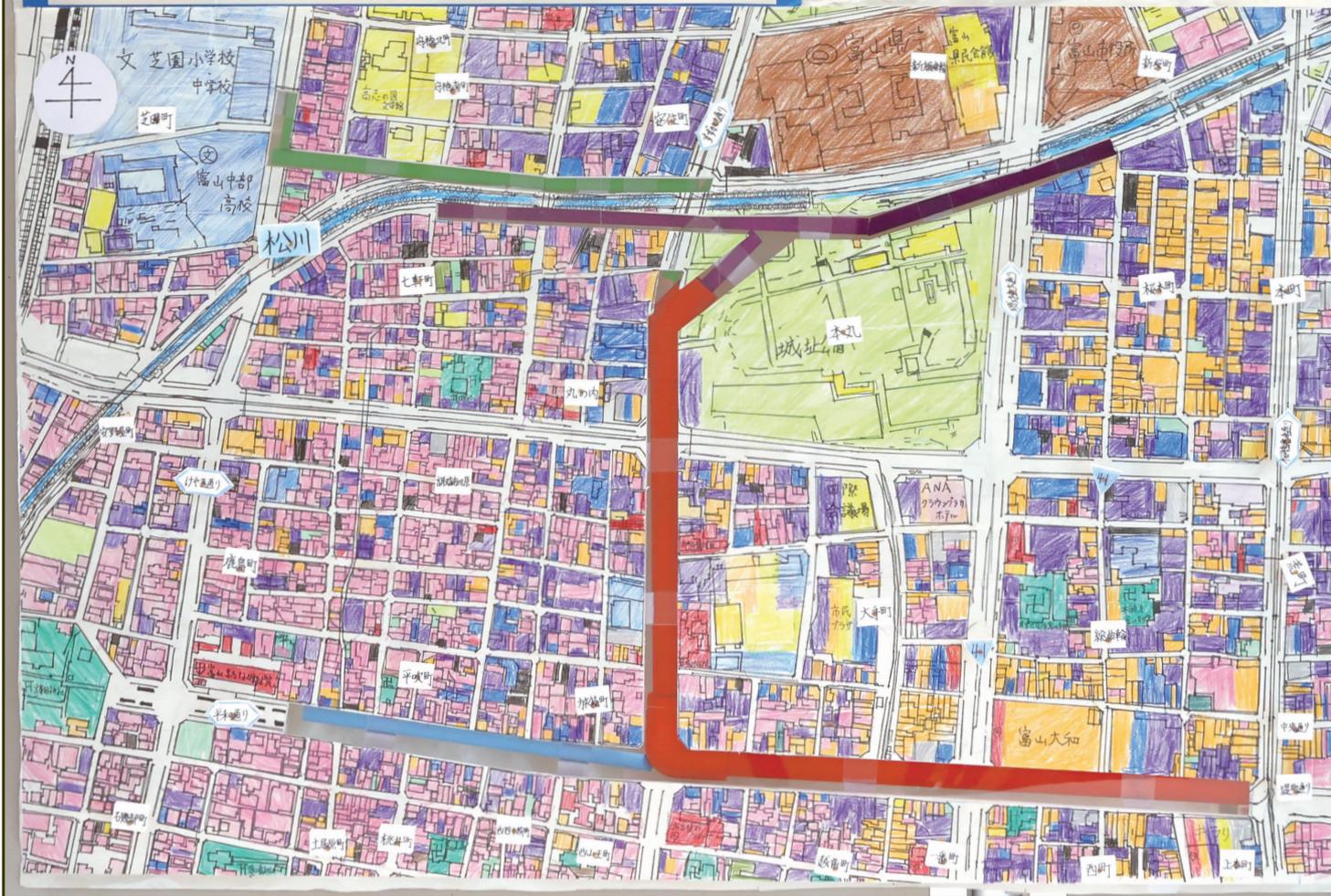
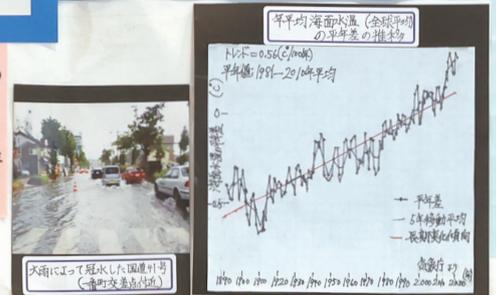


集中豪雨からまちを守れ!! 松川雨水貯留施設のは

富山市立堀川小学校 6年 姫野 理央

近年、地球温暖化が世界的な問題になっている。特に、日本では台風や大雨による河川の氾濫が相次いでいる。これは、地球温暖化による海面水温の上昇が原因の一つであると考えられている。富山県でも、大雨による幹線道路の冠水や、大雨による土砂崩れ、それらに伴う避難勧告が多く見られるようになっており、不安を感じている。

富山市中心市街地に整備された
松川雨水貯留施設の地図



とやまみんなの地図作品展について

「とやまみんなの地図作品展」は、剣岳に三角点を設置するために山頂に挑んで以来100年を迎えることを記念した「剣岳測量100年事業」の一環として、平成19年に行われた「地図展

2007in富山」での地図作品展が端緒となっています。その後、「とやま地図作品研究会」に引き継がれ名称を「とやまみんなの地図作品展」と改め現在に至り、令和3年度までに15回開催されました。この地図作品展は、富山県内の小中学生を対象にして地図作品を募集しているもので、児童生徒が身のまわりの環境や地域の姿

集中豪雨からまちを守れ!! 松川雨水貯留施設のはたらき

近年、地球温暖化による集中豪雨が、各地でさまざまな災害を引き起こしています。僕は、自分の身にも起こり得る災害への不安を感じていたとき、富山市の松川雨水貯留施設の存在を知りました。

松川雨水貯留施設は地下にあり、普段は目にすることができません。そこで、道路部分を透明にし、立体地図で表現することを考えました。さらに調べていく

と、貯留管は用途ごとに役割や働きが違っていました。そこで、貯留管を表すための塩ビ管の径の大きさや色を変えたり、施設を管理する富山市上下水道局の方へ手紙を送ったりすることで、施設の役割や働きを分かりやすく伝えられるように工夫しました。また、松川雨水貯留施設のある富山市の中心市街地には、多くの家や公共施設等が立地しています。そうした建物1つ1つを色分けしながら、地図に書き込んでいく作業も苦労しました。

僕はこの作品を通して、わたしたちの安心・安全なくらしに向けて、富山市がこれほど大きな施設を作ったこととともに、これほどの大きな施設が必要になるくらい地球温暖化の危機が迫っていることを伝えたいです。

(学年は作成時)



◀ 地図を横から見ると…

● 講評

本作品の特色は、地下にある施設を可視化し、地図に表現したこととです。さらに、貯留管の役割や口径の違いを調べることで、地図に用いた塩ビ管の口径や色を工夫しながら、施設の働きを分かりやすく伝えていきます。また、施設に携わる人へ手紙を送り、建設の意図や働きを確かめたり、統計資料と関連付けたりすることで、集中豪雨からまちを守る松川雨水貯留施設の重要性が一層伝わってきます。地下には、わたしたちのくらしを支えるさまざまなものが埋まっています。その存在や働きの大切さを気付かせてくれるとともに、目に見えない地下への好奇心を掻き立てられる作品です。

(富山市立堀川小学校 教諭 政二亮介)

たらしき



富山市の合流式下水道区域(277ha)の下水管水と雨水を一緒に流す構造となっています。その下水管の能力を上回るような集中豪雨による浸水被害が頻繁に発生します。そこで、富山市は24~30年度にかけて「浸水被害の軽減」を目的に全長3kmにわたる松川雨水貯留施設を整備しました。

松川雨水貯留施設 完成前と完成後

完成前
水の逃げ場がないので、土地の低いところで浸水が発生します。

完成後
土地の低いところの浸水被害が軽減されます。

富山市上下水道局の方に松川雨水貯留施設についてインタビュー

Q1: なぜ、富山市中心市街地に作ったの?
A1: 中心市街地は、大雨の度に浸水被害が多く発生していたからです。

Q2: どれくらいの費用がかかったの?
A2: 56億円です。

Q3: 松川雨水貯留施設の容量20,200m³とはどれくらいの量?
A3: 25mプール 53杯分 / 時間あたり58mmの雨量に対応しています。

● 施設の種類

- 住宅
- 店舗
- 公共施設
- 学校
- 病院
- 官公庁
- 会社
- 公園
- 倉庫
- 車庫
- 石油施設
- 銀行
- 空き地
- 郵便局
- 老朽ビル
- 消防署
- 墓地
- 整地
- 工場
- その他・不明

● 貯留管の種類

- 貯留管 直径 5.0~5.7m 長さ 1067m 貯留容量 20,200m³ 大雨時に雨水を一時的に貯留する管です。
- 浸水対策用管 直径 1.5~1.65m 長さ 707m 貯留管に雨水を導くための管です。
- 水質浄化対策用管 直径 0.7~2.2m 長さ 811m 水質浄化している場所の雨水は、貯留管に雨水を導くための管です。
- 貯留施設用管 直径 0.6m 長さ 62.6m 貯留管に貯まった雨水を晴天時に排水するための管です。

を自ら観察し、それらを地図として表現することにより、環境や地図さらには地域に対する関心を深めてもらうことを目的として実施しています。

(とやま地図作品研究会)